

令和 7年 3月12日

みやき町議会
議長 平野 達矢 様

みやき町議会総務文教常任委員会
委員長 岡 広 明



総務文教常任委員会審査報告書

令和7年3月6日の第1回定例会本会議において、当総務文教常任委員会に付託された次の議案について、令和7年3月7日・10日・11日・12日の4日間にわたり審査しましたので、その結果を会議規則第77条の規定に基づき報告します。

付託議案

議案第18号 令和7年度みやき町一般会計予算（分割付託分）について

記

1. 採決の結果

議案第18号 令和7年度みやき町一般会計予算（分割付託分）については、賛成多数にて本案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2. 審査の結果及び所見

議案第18号 令和7年度みやき町一般会計予算（分割付託分）について

歳入

- ① 町税全体では収入増が見込まれているが、租税負担の公平性の面からも滞納者に対して厳正に対処し、安易に不納欠損処理をせず、法的措置も視野に入れた徴収強化を行い、徴収に当たっては目標額を掲げ努力されたい。
- ② ふるさと寄附金基金特別会計より、ふるさと寄附金基金を取崩し、10億9,497万円を繰り入れている。今後は、ふるさと納税制度の改正や物価高騰等による景気悪化の影響などから、多くの寄附は望めない状況も想定される。ふるさと寄附金基金の取り崩しや財源充当については、計画的に持続可能な行財政運営と財政の効率化を十分に図られたし。
- ③ 財産貸付収入において、公共用地の貸付料に物価や地価を反映させることは、経済的な公平性や適正な資源の利用に寄与するだけでなく、町全体の利益にも寄与する重要な取り組みと考える。物価や地価の変動を調査し、適正な貸付料金設定とされることを望む。

歳出

- ① 合併の初期の目的は、組織や機関の効率化やコスト削減を図ることである。特に庁舎の統廃合は、複数の庁舎を1つに集約することで施設の効率的な利用や運営費の削減を目指すことが主な目的とされている。町を取り巻く社会情勢の変化や財政状況がますます厳しくなる中、限られた財源の中で公共施設再編を念頭に、必要最小限の施設で効率的な事務所機能を有する統合庁舎の検討を進めていくことを望む。
- ② 学校施設の老朽化が進む中、子どもたちの安全・安心を確保するためには、学校施設を常に健全に保つ必要がある。そのためには、限られた財政状況の中、計画的・効率的に保全・更新を行うことが重要である。令和7年度に設置される「新しい教育環境づくり検討委員会」で、今後の人口ビジョンや費用対効果も考慮に入れた上で適切な施策を検討されることを望む。
- ③ みやき町多目的人工芝グラウンド及び調整池整備事業については、現在、事業着手されているところだが、事業完成までには、多額の事業費の支出が見込まれている。物価高騰、人件費上昇等の影響を考慮して、本町の今

後の財政運営面で過度の負担とならないよう慎重かつ柔軟な事業推進を望む。

- ④ 町民体育大会に変わるイベントを検討したいと聞くが、町民が一同に会し行われるイベントは、住民同士の交流の場を提供し、地域の絆を深めることで、コミュニティの一体感を生みだすことが期待できることから、地域の特性や住民のニーズを取り入れて参加しやすいイベントとなるよう実施に向けた検討を図られたし。

なお、実施状況、進捗状況等の報告については、その都度、常任委員会へ行うことを望む。